国労東日本

（組合員の購読料は組合費に含まれます）

港区新橋5-15-5 交通ビル
国労東日本本部
発行責任者　松井正義
編集責任者　伊藤隆夫

No. 754　定価 20円

２０１４年
８月２５日

第28回定期大会 特集号 その1

引き続き、組織強化・拡大に集中を！

第28回定期大会（さいたま市）開催

変わらぬ使命は「安全・安心」、現場力のUPを！

国労東日本本部は、8月7～8日、第28回定期大会を埼玉県・さいたま市で開催しました。大会は、代議員の真摯な討論から、運動方針と労働条件改善要求を確立し、「憲法改悪反対、原発再稼働反対、労働法制改悪に反対し、平和と民主主義を守る特別決議」と「大会宣言」を採択し終了しました。

今号は、大会特集号【その1】として、代議員発言・書記長集約などを除いた部分を報告します。

1日目は、宮﨑副委員長の司会で始まり、資格審査委員会報告で大会成立を宣言、議事運営委員会を設置、議長には長瀬代議員（東京・神奈川地区本部）、副議長に伊藤代議員（東京・大宮地区本部）を選出し、議事に入りました。大会に先立ち松井委員長は、「安倍自公政権が突き進む危険な動向」（別掲）など、3点に亘り挨拶をしました。引き続き来賓挨拶、弁護団、国労本部からの報告を受けた後に議題に入り、経過報告に対する質疑3名の代議員発言までで終了しました。

議長
東京地本
長瀬代議員

副議長
東京地本
伊藤代議員

2日目は、経過報告の質疑から再開。途中、機関紙・組織拡大標語の表彰をはさみ、運動方針（案）、労働条件要求（案）に対する17名の代議員発言を佐藤書記長が集約し、全体の拍手にて採択。東日本委員の選出（2面に掲載）、代議員による一票投票でスト権を確立、その後特別決議、大会宣言を採択し、最後に松井委員長の団結がんばろうで大会は終了しました。

委員長挨拶 要旨

（全文はHPに掲載）

JR職域を代表する組織に！

2014年7月1日は、私たちの後世を生きる人々にとって一体どのように位置づけられるのか、私は不安でなりません。

安倍首相が言う戦後レジームからの脱却が目指す「美しい国・強い国日本」とは一体何を指すのか。

数年前、埼玉の北部で町工場を営んできた母方の伯父が90年を超える人生を終えました。工業学校を出て旧陸軍の工兵として中国に派兵されていました。私に語った最後の一言は「戦争ほど馬鹿なことはない」でした。

戦争で犠牲となった人や家族の悲惨さや凄惨さは言うに及びませんが、戦争を生き残った人の苦悩も計り知れないものがあります。今、戦争を実体験した人の多くが人生を終えようとし、多くが体験を語らずにいます。

日本は戦後69年を迎え、この間日本人は「戦争」で人を殺したことも殺されたこともありません。このことの大きな礎となってきたのが、日本が世界に誇れる「第9条」に象徴される平和憲法の崇高な理念です。

しかし今、日本の立憲主義は、安倍自公政権の暴走により、崩壊寸前という領域に入ってしまっています。

組織や枠などというものではなく、この時代を生きる一人の人間としての奮起が求められています。

結成以来一貫して反戦運動を取り組んできた歴史からも極右化する安倍政権の暴走にストップをかけなくてはなりません。

ＪＲ内における安全・安定輸送の確立と、そのことを担保し得る技術力の維持・継承は、抜き差しならない状況となっています。

国鉄からＪＲへと大きな変遷の中で職場は大きく変わりました。しかし変わらぬもの、変わってはならないものは、人の命や財産を安全に安定的に目的地まで届けることです。

今職場は、集団的労使関係から会社と一社員という個別的労使関係へと急速に歩みを進めています。言い換えれば労使が切磋琢磨していた時代から会社の方向性・指向性のみが職場の座標となっている傾向が、結果的に職場の「現場力」を削いでいると考えます。

私たち鉄道業で働く者の変わらぬ使命である「安全・安心」を求める取り組みは、現場力のアップであり、職場の中心軸に常に「仕事」を据えることであり、そのことによって誰が仕事を大切にし、誰が仕事を軽んじているのかが鮮明になります。私たち国労が職場の中心に座るとは正しくこのことであり、国鉄世代は全て仕事ができるという幻想は払拭していかなくてはなりません。

組織強化・拡大と国労運動の継承は、私たちが置かれている実態や現状からも一刻の猶予もありません。

組織拡大の取り組みの成果は各地方に広がり組織に活性化をもたらしています。

ＪＲ発足28年目を迎え、会社の描く将来像は、これまでとは全く違ったものが導き出されようとしています。国労の運動を、ＪＲ本体のみの労働組合に位置づけるのか、ＪＲ職域全体を網羅する労働組合を目指すのか、両者には大きな相違があります。

私たちは「ＪＲ不採用問題」を多くの仲間の支えによって解決してきました。そうした歴史と経過をたどった国労が導き出す答えは、ＪＲ職域を代表する労働組合組織を目指すことは至極当然のことであり、私たちの戦線復帰を願う仲間たちへの国鉄労働組合としての信義を発揮すべき時です。

私たちは、進むべき道を自らが導き出し、成すべきことを今この時にしっかり成し遂げようではありませんか。

第28回定期大会がその闘いの起点となることを訴えて執行委員会を代表しての挨拶とさせていただきます。

機関紙・組織拡大標語 表彰

	紙名	号数	地本	発行機関
最優秀表彰	ろばた	500号達成	仙台	東北工事事務所分会
	支部日報	500号達成	秋田	秋田総合車両センター支部
	スクラム	500号達成	長野	長野総合車両所支部
	支部日報	222	秋田	秋田総合車両センター支部
	国労水戸かもつ分会ニュース	71	水戸	水戸貨物分会
	スクラム	54	長野	長野総合車両所支部
	連結器	53	東京	田町電車区分会
	分会かべしんぶん	102	東京	蒲田車掌区分会
	国労高崎	64	高崎	高崎地方本部
	蘇我運輸区分会ニュース	64	千葉	蘇我運輸区分会
	郡工情報	54	仙台	郡山工場支部
優秀表彰	ろばた	33	仙台	東北工事事務所分会
	分会通信	45	仙台	貨物分会
	団結	33	仙台	仙台総合車両所支部
	ガンバ組立	34	仙台	組立分会
	国鉄新潟	31	新潟	新潟地本
	国労なかでん	36	東京	中野電車区分会

☆他労組組合員等に呼びかける組織拡大標語

最優秀　仙台　平栗　清司
国労に　入って守ろう輸送の安全
仲間の権利　あなたの命

優秀　秋田　村越　淳
あなたの決意が職場を変える
国労加入で明るい職場！

優秀　仙台　阿部　政雄
変えられます　働きやすい環境と
話しやすい職場風土へ　国労だから

優秀　盛岡　大山　厚
あなたの思いを　素直に言える
そういう仲間が　貴方を待っている

優秀　仙台　矢部　智久
国労の　仲間と守ろう　鉄路の安全

☆国労内部を対象とした組織活性化に向けた組織拡大標語

最優秀　東京　泉田　義己
構えず　気楽に　大胆に
国労加入を呼びかけよう

優秀　秋田　後藤　重文
運動を　未来につなぐ　拡大行動

優秀　東京　横田　昌一
勇気を持って話しかけよう
組織拡大は自分のために

優秀　東京　伊藤　達也
増やそう仲間　勝ち取ろう要求

優秀　盛岡　菊池　要悦
国労へ　あなたの声が　仲間を変える

ありがとうございました

来賓

【関東交運労協】
大和田正樹　副議長

【全国交運共済東日本事業本部】
濱中保彦　本部長

【国労本部】
菊池忠志　書記長

【東日本本部顧問弁護団】
海渡雄一　弁護士

【東日本本部顧問弁護団】
福田護　弁護士

ご紹介

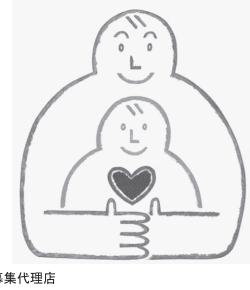
【全国交運共済東日本事業本部】
太田博二　副本部長

【国鉄労働会館】
伊藤秀樹　専務理事

メッセージ

国労北海道本部　国労東海本部
国労西日本本部　国労四国本部
国労九州本部

最新のがん治療に合わせて
進化したアフラックの新しい
「がん保険」です。



＼新登場／
生きるためのがん保険 Days（デイズ）

〈引受保険会社〉
「生きる」を創る。
Aflac
アフラック（アメリカンファミリー生命保険会社）
東京第三法人営業部
〒163-0456　新宿区西新宿2-1-1　新宿三井ビル
Tel.03-3344-1459 Fax.03-3344-4036

■募集代理店
アベニール　株式会社
TEL 03-3437-6810
FAX 03-3437-6822
〒105-0004　港区新橋5-15-5　交通ビル3F

資料請求いただいたお客様の個人情報の利用目的は、アフラックの各種商品やサービスの案内・提供・維持管理となります。
◎詳しくは、「パンフレット（契約概要）」や「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。
AF007-2011-0293　6月22日

東日本本部委員

定数17名

○盛岡地本・小林　良宏
○秋田地本・田崎　秋弘
○仙台地本・高橋　英樹
○新潟地本・秋山　正浩
○高崎地本・原田　好太郎
○水戸地本・小池　敏晴
○千葉地本・泉　秀俊
○長野地本・福冨　雅彦
○東京地本・菊地　義明
・矢澤　栄雄
・古沢　真一
・鈴木　敏
・岡部　貴一
・湊　信蔵
・長瀬　嘉宏
・水越　孔智
・小森　充